

令和 7 年 7 月 1 6 日

令和 7 年千葉市教育委員会会議第 7 回定例会

[議案書]

千葉市教育委員会

令和 7 年千葉市教育委員会会議第 7 回定例会議事日程

令和 7 年 7 月 1 6 日（水）
午後 2 時 0 0 分開会

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会期の決定
- 4 議事日程の決定
- 5 報告事項
 - (1) 令和 7 年第 2 回千葉市議会定例会について …… 1
[総務課]
 - (2) 第 6 1 回千葉市特別支援学級特別支援学校児童生徒激励会
～げんき交流会～について …… 3
[教育支援課]
 - (3) 第 5 2 回千葉市小学校表現運動発表会（中央区・若葉区・緑区の
部）について …… 5
[保健体育課]
- 6 議決事項
議案第 2 1 号 令和 8 年度市立特別支援学校高等部第 1 学年入学者の
募集及び選考の基本方針について …… 7
[教育支援課]
- 7 その他
- 8 閉会

報告事項（１）

令和７年第２回千葉市議会定例会について

教育総務部総務課

１ 会 期 ６月５日～６月２５日

６月１１日、１２日	代表質問
６月１３日	議案質疑
６月１６日	教育未来委員会
６月１８日～２４日	一般質問
６月２５日	委員長報告、討論、採決

２ 提出議案等の審議状況

（１）令和７年度千葉市一般会計補正予算（第１号） 【令和７年教委議案第１９号】

（２）千葉市生涯学習センター設置管理条例の一部改正について

【令和７年教委報告第５号】

※（１）及び（２）については、教育未来委員会の審査を経て、６月２５日の本会議において可決された。

３ 代表質問・議案質疑・一般質問

（１）代表質問（議員が会派を代表し、本市の行政全般にわたり、執行部に対し、事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、又は疑問を質す発言）

代表質問を行った４会派全てが教育委員会に関する質問を行った。

- ※主な項目
- ・学校施設の環境整備について（学校体育館冷暖房設備）
 - ・教員の確保について
 - ・社会教育施設保全計画について
 - ・老朽化する公民館等の社会教育施設の修繕・建替計画について
 - ・第２次不登校対策パッケージについて
 - ・ギガタブを持ち帰らなくても自宅で学習できる環境づくりについて
 - ・ギガタブ端末の適正処理の方針について
 - ・学校体育館エアコン整備の前倒しについて
 - ・不登校対策について
 - ・先月若葉区で起きた事件について

（２）議案質疑（現に議題となっている事件について、議案に係る提案理由説明を受けた後、討論、採決に入る前に、その疑義を質すために行う発言）

議案質疑を行った２人が教育委員会に関する質疑を行った。

- ※主な項目
- ・学校体育館冷暖房設備整備について

(3) 一般質問（議員個人が、本市の行政全般にわたり、執行部に対し、事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、又は疑問を質す発言）
一般質問を行った32人のうち14人が教育委員会に関する質問を行った。

- ※主な項目
- ・登下校時の安全対策について
 - ・平和教育について
 - ・不良行為少年及び非行少年への対応について
 - ・タブレット端末を活用した匿名相談システム導入について
 - ・地場農産物を食べて支える取組について（学校給食関係）
 - ・包括的性教育について
 - ・エアコン設置後の教室環境について
 - ・学校給食における食品ロス対策について
 - ・子どもの自殺予防対策について
 - ・椎名公民館の早期整備について
 - ・誉田東小学校の児童数増への対応について
 - ・椎名小学校の今後のあり方について
 - ・水泳指導について
 - ・臨海部における降下ばいじん対策について（学校プール関係）
 - ・公民館図書室について
 - ・公共施設の生理用品配置について（市立学校関係）
 - ・学校におけるLGBTQに関する千葉市の施策推進状況について
 - ・長期休業中の学童施設における昼食支援の課題と対応について
 - ・日本語プレクラスについて
 - ・憲法について
 - ・ネットを活用した金銭の教育について

報告事項（２）

第６１回千葉市特別支援学級特別支援学校児童生徒激励会～げんき交流会～について

学校教育部 教育支援課

- 1 目的 千葉市内の特別支援学級と特別支援学校に学ぶ児童生徒が、楽しくスポーツ等に興じることで共に親交を深め楽しい時間を過ごすとともに、交流を深める場とする。
※昭和４０年に市厚生課主管行事の「激励会」としてスタート。現在、千葉市の主催として、保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課が担当し、教育委員会が共催となっている。運営は、千葉市特別支援教育研究協議会が障害者自立支援課からの委託を受け行っている。
- 2 日時 令和７年６月１３日（金）９時００分から１２時１５分まで
令和７年６月１７日（火）９時００分から１１時５５分まで
- 3 会場 千葉ポートアリーナ
- 4 内容 １３日（金）小学校（中央区・若葉区・緑区）・第二養護学校の部
「ダンス等交流」「ボッチャ」
１７日（火）中学校（全区）・市立養護学校の部
「ボッチャ」「フライングディスク」「バスケットボール」
- 5 参加者数
小学校・第二養護学校 約４２０名 中学校・市立養護学校 約４００名
保護者 約７３０名 教職員 約２３０名
主催者・来賓等 約 ２０名 合計 約１，８００名
- 6 その他
・両日とも、天候に恵まれた中での開催となった。熱中症等や怪我の心配もされたが、体育館内の空調を十分に活用し、両日とも大きな怪我や事故なく実施できた。
・児童生徒も個々の実態に合わせた競技参加や交流を、楽しんでいる姿が多く見られた。
・管理職、保護者も多く参観されていた。

7 会場の様子



バスケットボール



ボッチャ

報告事項（３）

第５２回千葉市小学校表現運動発表会(中央区・若葉区・緑区の部)について

学校教育部保健体育課

- １ 趣旨 表現運動発表会は、学校体育の発表の場とし、児童の表現運動に対する興味・関心及び表現力を高めるとともに、近隣校との交流を深める中で、心身の健全な発達と児童相互の望ましい人間関係の育成を図る。

２ 実施概要について

- (１) 日 時 令和７年６月１８日（水） ９時１５分～１１時１５分
(２) 会 場 市内小学校体育館（１６会場） ※別紙参照
(３) 参加校等 参加校(中央区・若葉区・緑区)：５２校 ※別紙参照
(４) 参加児童数 １,５９０人（３・４年）
(５) その他 ブロックごとに会場校へ参集して実施し、発表会の様子をオンラインで参加校へ配信する。

３ 当日の日程

9:15 9:25 9:40 11:05 11:15

開会式	つどい	発表会	閉会式
-----	-----	-----	-----

※つどい・・・他校と交流を目的に一緒にダンスや自己紹介等をする。

４ 発表学年及び発表内容

発表学年	学校数
４年（１学級参加）	４０校
４年（２学級参加）	４校
４年（２学級合同）	３校
３・４年（２学年合同）	５校

発表内容	学校数
ジャングルたんけん	２５学級
海中たんけん	１６学級
忍者	９学級
自然	３学級
その他（クッキング等）	３学級

５ 視察（学校教育部長・保健体育課長）

【おゆみの南小ブロック・星久喜小ブロック】 WBGT26℃

- ・両校の参加児童が生き生きと表現を楽しんでおり、充実した発表会であった。
- ・水分補給や休憩の時間を確保し、安全に配慮していた。

６ 参加した職員の事後アンケートより（成果と課題）

（１）成果

- ・発表会に向けて一生懸命に取り組んだ過程がよかった。学校を代表しているという自覚をもって取り組んでいた。他の学校の児童とたくさん交流できた。

（２）課題

- ・WBGTの数値を気にしての運営となった。午前中開催以外の対策も考えていかなければならない。

７ 所見

表現運動発表会を開催することで、「表現運動」の学習の充実につながった。他校と発表を見合うことや「つどい」を通して、児童相互の交流を深めることができた。今後は、さらなる熱中症への対策を考え、安全安心な発表会運営を行う必要がある。

1 ブロック編成

No	学校名	No	学校名
A	新宿 弁天 登戸	I	千城台みらい 千城台わかば 千城台東
B	院内 鶴沢 本町	J	北貝塚 桜木 都
C	◎寒川 宮崎 蘇我	K	◎更科 ◎大宮 ◎千城 坂月 ◎白井
D	生浜 生浜東 生浜西	L	有吉 泉谷 扇田 小谷
E	星久喜 仁戸名 ○川戸	M	おゆみ野南 椎名 金沢
F	大巖寺 大森 松ヶ丘	N	誉田 誉田東 ○平山
G	都賀の台 みつわ台北 源 みつわ台南	O	◎土気 大木戸 越智
H	若松 若松台 小倉	P	大椎 土気南 あすみが丘

□…会場校 ◎…借上げバスで移動 (※) ※学校間の距離が徒歩で2 km 以上の場合が対象
○…公共交通機関で移動

2 児童、発表学級担任、体育主任の感想（抜粋）

（児童）

- ・身体や場を大きく使って表現することができた。リズムの変化も意識できた。
- ・他の学校の表現を見ることでとても勉強になり、貴重な経験となった。テーマが違くと違ったおもしろさがあった。考えを広げることができた。

（発表学級担任）

- ・児童が学習を通してお互いの良さを認め合えるようになり、学級の雰囲気がよくなった。

（体育主任）

- ・体育主任同士、連絡を密にとって運営をすることができた。うまく役員分担できた。

3 発表会の様子



議案第 21 号

令和 8 年度千葉市立特別支援学校高等部第 1 学年入学者の募集及び選考の基本方針について

令和 8 年度千葉市立特別支援学校高等部第 1 学年入学者の募集及び選考の基本方針について、次のとおり定めるものとする。

令和 7 年 7 月 16 日提出

千葉市教育委員会教育長 鶴 岡 克 彦

1 千葉市立養護学校高等部 普通科

(1) 応募資格

原則として、障害の程度が学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める知的障害者で、以下に該当する者とする。

ア 千葉市立養護学校の通学区域（千葉市中央区・若葉区・緑区・稲毛区の一部）に居住する者、または入学までに通学区域に住所を有する者

イ 次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当する者

（ア） 特別支援学校の中学部若しくは中学校若しくは義務教育学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月に卒業する見込みの者

（イ） 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和 8 年 3 月に修了する見込みの者

（ウ） 学校教育法施行規則第 95 条の各号のいずれかに該当する者
なお、令和 8 年 3 月に学校教育法施行規則第 95 条第 1 号及び第 2 号に規定する課程を修了する見込みの者を含む。

(2) 入学定員

特に定員を定めない。

(3) 入学者選考

ア 事前の教育相談

千葉市立養護学校（以下、養護学校という）で、オープンスクール及び 1 日体験学習に参加することを要する。

イ 願書等の提出期間

令和 8 年 1 月 29 日（木）から 2 月 9 日（月）

ウ 入学者選考日

令和 8 年 2 月 17 日（火）及び 2 月 18 日（水）のうち養護学校の校長が定める日

エ 入学者選考の方法

学力検査、作業能力検査、運動能力検査、面接、提出書類等により総合的に審査し、入学許可候補者を選考する。

なお、学力検査については、校長が学校の実情に応じて必要と認められる教科を選択して行うものとし、その内容は学習指導要領に

示されている基本的事項とする。

ただし、特別の事情のあるときは、学力検査等を行わないことができる。

(4) 追選考

選考日当日に感染症罹患等、やむを得ない理由により受検することができなかった者に対して追選考を行う。追選考の方法については、養護学校の校長が別に定める。

(5) 入学許可候補者の発表及び通知

校長は、令和8年3月3日（火）午前9時に、養護学校で掲示により発表するとともに、通知書を交付する。また、在籍（出身）校に通知する。

(6) その他

入学者選考の実施に関して必要な事項については、「令和8年度千葉市立養護学校高等部及び高等特別支援学校入学者選考要項」に定める。

2 千葉市立高等特別支援学校 普通科（職業コース）

(1) 応募資格

原則として障害の程度が学校教育法施行令第22条の3に定める知的障害者で、以下に該当する者とする。

ア 市内に居住する者、または入学までに市内に住所を有する者

イ 次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当し、公共交通機関等を利用して通学できる者

（ア） 特別支援学校の中学部若しくは中学校若しくは義務教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業する見込みの者

（イ） 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和8年3月に修了する見込みの者

（ウ） 学校教育法施行規則第95条の各号のいずれかに該当する者
なお、令和8年3月に学校教育法施行規則第95条第1号及び第2号に規定する課程を修了する見込みの者を含む。

(2) 入学定員

第1学年 32人

(3) 入学者選考

ア 事前の教育相談

令和7年11月28日（金）までに千葉市立高等特別支援学校（以下、高等特別支援学校という）で進路に係る教育相談（志願を前提とした教育相談で、単なる学校見学や参観は含まない）を行うことを要する。

イ 願書等の提出期間

令和 7 年 1 2 月 1 日（月）から 1 2 月 3 日（水）

ウ 入学者選考日

令和 8 年 1 月 8 日（木）及び 1 月 9 日（金）

エ 入学者選考の方法

期日 区分	検査内容	時 間	配点
第 1 日（1 月 8 日）	作業能力検査	高等特別支援学校の計画による	2 0 0 点
	学力検査（国語・数学・理科・社会）	5 0 分間	1 0 0 点
	運動能力検査	高等特別支援学校の計画による	1 0 0 点
第 2 日（1 月 9 日）	面接	高等特別支援学校の計画による	

※国語の内容は、放送による聞き取り問題を含む。

※その他、在籍（出身）校からの提出書類により総合的に審査し、入学許可候補者を選考する。

（４）追選考

選考日当日に感染症罹患等、やむを得ない理由により受検することができなかった者に対して追選考を行う。追選考の方法については、学力検査（国語・数学・理科・社会）を 5 0 分間で実施する。なお、国語の内容は、放送による聞き取り問題を含む。作業能力検査及び面接の実施については、高等特別支援学校の校長が別に定める。

（５）入学許可候補者の発表及び通知

校長は、令和 8 年 1 月 2 0 日（火）午前 9 時に、高等特別支援学校で掲示により発表するとともに、本人に郵送にて通知する。また、在籍（出身）校の校長に通知する。

（６）第 2 次募集

入学許可候補者数が発表時に定員に満たない場合、第 2 次募集を行う。

（７）その他

入学者選考の実施に関して必要な事項については、「令和 8 年度千葉市立養護学校高等部及び高等特別支援学校入学者選考要項」に定める。

〜〜

議 案 説 明

令和 8 年度千葉市立特別支援学校高等部第 1 学年入学者の募集及び
選考の基本方針等を定めることについて、千葉市教育委員会組織規則第
8 条第 9 号の規定により、議決を求めるものであります。

令和7年教育委員会会議第7回定例会 座席表（教育委員会室）

